

平成30年7月27日

豊田市議会議長 鈴木 章 様

産業建設委員会
委員長 加藤 和男



委員派遣実施報告書

本委員会は、下記のとおり委員派遣を実施しましたので、委員会条例第37条第1項の規定により提出します。

記

- 1 日 程 平成30年7月10日（火）～12日（木）
- 2 派遣先及び内容
10日（火）…新潟県長岡市／
公共建築物等の地域材利用促進の取組
11日（水）…群馬県高崎市／
橋梁長寿命化修繕計画
12日（木）…神奈川県藤沢市／
交通アクションプラン
- 3 派遣委員
委員長 加藤 和男
副委員長 水野 博史
委員 杉浦 弘高 作元志津夫 神谷 和利
山田 主成 岩田 淳 日當 浩介
- 4 報告書 視察報告書のとおり
- 5 その他 随行 / 奥村 洋、河橋 敦子

視察報告書【1】

委員会名	産業建設委員会	委員長	加藤 和男
視察日時	平成30年7月10日（火） 午後2時00分 ～午後4時00分		
視察先・概要	新潟県長岡市 人口：271,844人（H29.6.1現在） 面積：891.06km ²		
視察内容	【公共建築物等の地域材利用促進の取組】		
選定理由	長岡市は、公共建築物等における木材利用を促進するため「長岡市公共建築物等における木材利用促進に関する基本方針」を策定している。公共施設の木材利用を促進することにより、林業・木材産業の振興や森林整備が促進でき、この取組は、今後の本市において参考になると判断したため。		
豊田市の現状と課題	今年夏の製材工場稼働を契機に、森林整備に加え、森林資源の循環的利用を促進するために、豊田市産の地域材が市内で常態的に利用される取組が必要となる。 先進的な取組を調査、研究する必要がある。		
視察概要	<ul style="list-style-type: none"> ●公共建築物等における木材利用促進について ・経緯・背景・概要・特徴・成果と今後の課題 ・地域材の利活用の推進 ・地域材製材工場や県との地域材供給の連携 ・森林資源の利活用による林業の振興について ・長岡市の公共施設等木造・木質化の取組事例について 		
評価とその理由	<p>長岡市では地域材の利活用を推進するために、公共建築物における木造化・木質化の推進や木質バイオマスエネルギーの導入、その木質バイオマスエネルギー設備の導入に対し補助をするなど地域資源の循環活用や環境教育、市民の意識啓発に努めている。</p> <p>また、平成29年10月に「中越地域林業成長産業化推進協議会」を設立し生産から流通、消費まで一貫した体制づくりの研究を開始した。このような取組の中で、「市有施設木造・木質化検討シート」を作成し積極的な木造・木質化を促進している。</p>		
本市に反映できること	製材工場で地域材を活用していくにも、材料を出来るだけ活用していくためには、ペレットを活用する事は、有効と考える。本市も公共施設の木質化を導入し、新しく完成した製材工場の活用をする為に、地域材を使用する仕組みを創る必要がある。		
その他 (意見・課題など)	<p>今回は長岡市の、木造・木質化の実績の一覧を出して頂いたが、ブランド材を活用するために、建設コストが非常に高く積極的に導入が図られている感じはしなかった。校舎の大規模修繕工事は校舎内を明るくすると共に、コンクリートとは違い、温かみを感じる内装になっていました。</p> <p>また、長岡市駅前に完成した「アオーレ長岡」の施設を見学したが、地域材を活用とした雰囲気のある施設になっていた。屋根付き広場は、全天候型の巨大空間になっており、イベント活用の幅が広がり、普段は誰もが気軽に立ち寄り、憩い集うことができるスペースになっていました。</p>		

視察報告書【2】

委員会名	産業建設委員会	委員長	加藤 和男
視察日時	平成30年7月11日（水） 午前10時00分 ～ 午前11時30分		
視察先・概要	群馬県高崎市 人口：374,177人（H30.5.31現在） 面積：459.16km ²		
視察内容	【橋梁長寿命化修繕計画】		
選定理由	<p>高崎市は橋りょう長寿命化修繕の基本的な方針として、増大が見込まれる維持更新費用について、橋りょうの長寿命化を図ることにより維持更新費用の縮減と平準化を目的としている。</p> <p>対象橋りょうの健全度の把握や日常的な維持管理を行い、損傷が小規模なうちに計画的に予防保全型の管理をすることで、維持管理更新費用の縮減を図っており、この取り組みは、今後の本市において参考になると判断したため。</p>		
豊田市の現状と課題	<p>橋りょうを始めとする多くの都市基盤施設の急速な老朽化の対応として、膨大は費用が必要となる。また、施設の老朽化に起因する突発的な事故の発生等が懸念されているため、先進的な自治体の取組を調査・研究する必要がある。</p>		
視察概要	<p>●橋梁長寿命化修繕計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定の経緯 ・背景・概要・特徴・成果と今後の課題 ・対象橋梁の数と点検・修繕期間等について ・予防的な修繕による長寿命化の取組について ・費用削減の取組 ・環境面での配慮について 		
評価とその理由	<p>高崎市では、平成21年度から橋梁の点検を実施し、230橋の点検を終了。対策区分を分けて具体的な対策を計画し今後50年間に必要な費用を予測し、修繕や点検の時期の設定し修繕費の平準化を図りました。この結果、今後50年間で約75億円のコスト削減を図ると共に、計画通りの修繕を実施していく事になっている。</p>		
本市に反映できること	<p>高崎市の橋梁長寿命化の話で、一番の問題が「雨などの水」とお聞きしました。水を如何に早く排水する環境を作る事が重要で、古い橋ほど排水路がないことが危険で、隙間のひび割れの部分から水が入る事により、ひびが広がり、コンクリートの耐久性を弱めてしまう。このサイクルを豊田市でも検証する必要がある。</p>		
その他 (意見・課題など)	<p>高崎市でも、長寿命化計画は完成したが、結局は予算が伴わないと、修繕が出来ない環境になっている。予算が年間1億のため、2～3橋ぐらいしか補修が出来ない状態となっている。計画を全て終らせるには、とてつもない時間がかかってしまう。既に、計画通りに修繕を実施していくのが課題と認識しているため、豊田市においても、同じような事が課題になると予測されます。点検と計画だけで終わらせないようにするためにも、予算確保が必要。</p>		

視察報告書【3】

委員会名	産業建設委員会	委員長	加藤 和男
視察日時	平成30年7月12日(木) 午前9時30分 ~ 午前11時00分		
視察先・概要	神奈川県藤沢市 人口：430,349人 (H30.6.1現在) 面積：69.57km ²		
視察内容	【交通アクションプラン】		
選定理由	藤沢市の交通システムは、輸送力の高い連節バスの導入により、駅前での混雑緩和を図ると共に、公共交通不便地域への支線バスによる交通網の拡大により利便性を向上させ、また、ITS（高度道路交通システム）の活用を加えた、新しい交通システムである。この取組は、今後の本市において参考になると判断したため。		
豊田市の現状と課題	超高齢社会や人口構造・ライフスタイルの多様化などの交通社会の課題対策として、急速に進展する先進技術の活用が期待されており、先進的な自治体の取組を調査・研究する必要がある。		
視察概要	<ul style="list-style-type: none"> ●交通アクションプラン ・交通アクションプラン策定の経緯と背景 ・交通アクションプランの概要と特徴 ・交通アクションプランの成果と今後の課題について ・先進的な交通システムの取組事例について ・連結バス(ツインライナー)・公共車両優先システム(PTPS) サイクル・アンド・バスライド等について 		
評価とその理由	藤沢市では、約70km ² というコンパクトな都市であり、鉄道が6社、6路線、17駅で均等に東西や南北に鉄道が走っている。この鉄道の隙間を縫うように、路線バス会社3社が駅とバス停を繋げている。将来の交通像を「ひと・モノ・まちが、つながる都市～湘南ふじさわ～」として、最寄りの駅まで15分を目指した交通体系に力を注いでいる。現在は、72%の人口をカバーし、最後の北部に対してPTPSを導入した公共車両優先システムのバスを運行する事によりバス利用者の利便性の向上を図る取組をしている。またその路線には、国庫補助金を活用とした連節バスを導入し、運転手などの負担も減らしながら、駅に運ぶ人口を確保している。このような様々な施策をする事により目標達成に近づいている。		
本市に反映できること	本市でもPTPSを導入した取組を行っているが、民間バスやおいでんバスの機械の取り付け普及率がどこまでいっているのか?調べる必要がある。そして、まだ先になるかもしれないが、自動運転によるバスの運行を、いち早く取り組む必要を感じる。また、藤沢市では、国庫補助金をいかにして活用するかを考え形にしてきた。豊田市も国からの情報をキャッチし、豊田市の為に活用できる補助金について一括で扱う担当課が必要と考えます。		
その他 (意見・課題など)	藤沢市のような公共交通網は確立することは出来ないが、高速出口が多い豊田市の新しい公共交通のあり方を確立する必要がある。例えば、自動運転・地域核のバスターミナルの形		

■ 7月10日（火） 新潟県長岡市



■ 7月11日（水） 群馬県高崎市



■ 7月12日（木） 神奈川県藤沢市

